


|   |   |   |  |
|---|---|---|--|
| 那覇市長 宛  |   | 令和 4 年 10 月 14 日<br>団体名 NPO法人フードバンクセカンドハーベスト沖縄<br>縄<br>代表者 奥平 智子<br>担当者 奥平 智子   |  |
| 新型コロナウイルス感染症対応『市民活動チャレンジ助成事業』                                     |   |   |  |
| 中間報告書   |   |   |  |
| 令和 4年 6月 30日付、那覇市指令市ま第 1028号で交付決定の通知を受けた当該事業について、<br>下記のとおり報告します。 |   |   |  |
| 1.事業名   | 食ま〜るプロジェクト「食べ物から生まれる安心感と人とのつながりを家庭に届ける」事業   |   |  |
| 2.実施内容  | ①実施場所<br>本助成金で食品を購入し、保管管理分配をNPO法人フードバンクセカンドハーベスト沖縄事務所にて個人世帯を対象に行う。<br>②対象者<br>対象：7〜9月で那覇市を中心とした県内在中の個人世帯 月1,200名。<br>③内容<br>コロナ禍でより不足している食品を本助成金で購入した食品や寄付食品を、必要としている個人世帯に連携窓口を通し配布していく。<br>期間：7月〜9月の3か月一人当たり：225円の食品を購入し配分する。<br>※225円の内訳 本助成事業 270,000（月）÷1,200名分 = 225円  |   |  |
| 3.これまでの活動の<br>振り返り  | 【良かった点】<br>①コロナ禍でより不足している食品を本助成金で購入し、できるだけ栄養バランスが取れた内容の食品を必要としている個人世帯へ配布することができた。<br>②コロナ禍で、個人世帯とつながっている窓口との連携が増え、より多くの個人世帯へ食品を配布することができた。<br>③食品を購入するにあたり、県内企業を中心に食品について相談することで、フードバンク活動への理解や関係性が深まり、購入ではなく、余剰食品の相談や実際に活用することもでき、食品ロスの削減にもつながった。また、新規参加企業からの寄付も始まった。<br>④余剰食品の廃棄が減ることで、環境負担の削減にもつながった。   | 【改善点・今後につなげる点】<br>①相談窓口が増えることで、連携についての説明機会や連絡が増え、マンパワーがより足りなくなった。<br>②食品の寄付が増えたことで、食品の在庫管理や受け取り調整などの負担が増え、マンパワーがより足りなくなった。<br>③食品の購入相談を行ったことで、沖縄における食品ロスの新たな問題が見えた。<br>④事業が広がることで生まれた新たな課題は、つながっている沖縄県の部署などへ共有し、支援や協働について求めていく。 |  |
| 4.今後の事業予定   | ・日本フィナンソロピック財団助成事業を滞りなく進めていく。<br>・引き続き、沖縄県の食品ロス削減推進法策定の委員としての関わりを通し、沖縄県消費くらし安全課やこども未来政策課、農林水産部流通加工推進課などと、食品ロスの軽減や貧困問題などへのフードバンク活動の意義を深める機会を増やししていく。また、農林水産部を通して、令和5年度のフードバンク活動支援事業の申請を進めていく。<br>・令和4年度フードバンク活動強化緊急対策委託事業の中核団体として委託先になったので、子どもの居場所や食支援団体等とのネットワーク強化の会議を進めていく。<br>・沖縄県と女性を元気にする会が行う「トータルビューティ&相談会」のイベント会場にてフードバンクの活動の紹介や周知を行っていく。<br>・コープおきなわが行う「フードバンク支援募金」やみらいファンド沖縄で作った基金への協力についてもSNS等で積極的にアピールしていく。<br>・2022年10月11日に総合経済対策、フードバンク支援を大幅拡大という政府発表もあり、事業へ協力いただける企業参入も高まっていくことが予想されるが、事業に個人へ資金協力を募りながら、安定した活動を目指していきたい。<br>⇒ ご参照：岸田首相会見  |   |  |

|                                    |  |   |
|------------------------------------|--|---|
| <p>5.写真<br/>(簡単な説明文を記入)</p>        |  <p>( コープおきなわから購入した食品 )</p>   |  <p>( コープおきなわ全店舗に設置されたフードバンク募金箱 )</p>          |
|                                    |  <p>( 首里高校とホテルが協働で行ったフードドライブ寄贈時の取材 )</p>   |  <p>( 2015年から続いているNTT西日本沖縄支部からのフードドライブ寄付 )</p> |
| <p>6.活動の成果目標</p>                   | <p>【目標値】一人当たり225円<br/> 7月食品購入予定額 27万円分、個人世帯 1,200名<br/> 8月食品購入予定額 27万円分、個人世帯 1,200名<br/> 9月食品購入予定額 27万円分、個人世帯 1,200名</p>   |   |
| <p>7.現時点の成果目標達成度<br/>(例：60%達成)</p> | <p>【成果】(10月14日締め)<br/> ※毎週月曜日に個人世帯に配布している実施数。( )内は月の回数<br/> 7月(3回) 食品購入額 270,928円 一人当たり約221円<br/> 407世帯・1,225名<br/> 8月(4回) 食品購入額 304,265円 一人当たり約169円<br/> 580世帯・1,802名<br/> 9月(2回) 食品購入 560,66円 一人当たり約<br/> 411世帯・1,182名<br/> ★9月末地点 食品寄付者数目標 117%達成<br/> 10月(1回) 食品購入 181,886円<br/> 108世帯・387名<br/> 合計1506世帯 4,596名<br/> ★10月14日地点 食品寄付者数目標 128%達成<br/> 助成額達成率 100.39%<br/> 一人当たりの助成額(計画225円) 177円 予定数を大幅に超えた世帯へ方食品を配布することができました。</p> |   |

\* 10月14日(金) 提出

\* 提出方法：メールにて提出

\* 提出いただいた中間報告書は、ホームページにそのまま掲載予定です。枠を広げて構いませんが、2ページに収まるように記入してください。

\* 中間報告書は、報告会で参加者に配布予定です。この報告書をもとに報告発表していただいても構いません。